

看護師キャリア開発ラダー

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅣ
臨床能力項目	看護実践能力	基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する。	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する。	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する。	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する。
	基本的看護技術提供から特殊・専門的・高度な看護実践能力					
	組織的役割遂行能力	責任の最も軽い難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす。看護チームではフォロアーやチームメンバーの役割、病棟での係りとしては簡単なルーティーンに係りの役割を遂行できる。	組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて基準や手順を順守した行動がとれる。日々の看護業務においてリーダーシップがとれる。	所属する職場で、組織的役割が遂行できる。看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割、病棟での係りとしては、創造的能力を要求される係りの役割を遂行できる。	所属する職場で特殊なまたは、専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割(学生指導、業務改善係、学習会係、教育委員、リスクマネジメント係など)を遂行できる。看護単位の課題の明確化ができる。	所属を捉え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる。看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる。
	看護チームなどの最小組織から看護部、医療施設、地域、国内での看護職能団体の中での役割遂行能力					
	自己教育・研究能力	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる。	自己の課題を明確にし、達成に向けた学習活動を展開することができる。	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる。	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる。	単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践できる。看護単位における教育的役割がとれる。
	技術専門職としての自己の技能を高め、さらに看護への科学的追求を行う能力					